

木材価格市況標準相場

令和7年9月1日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	4
米材（役物製品）	1
合 板	3
(2) 値下げ品目	1
北洋材・北欧材	1

○今月の市況動向

8月の商況は、夏季休暇明け荷動き回復への期待があったものの、実需の盛り上がりは見られなかった。一方で、原木価格の高止まり傾向は変わらず、メーカーの採算面での厳しさが意識される状況となっている。

（国産材）秋田杉では依然として原木不足が続き、桧原木も強含みの状態で推移している。吉野材においても春以降の原木出材は少なく、供給の増加は見込み難い状況。

（輸入材）値上げを実施した米松CLR盤は、米材役物製品の中でも特に入荷状況が厳しく、市場での不足感が強い。大手ビルダーを中心に国産材への樹種変更が進んでいるものの、国産材の供給も十分ではなく、需要動向によっては値上げの可能性があるとの報告もあった。

（合板）針葉樹構造用合板では、7月も生産量が出荷量を上回り、在庫増加が続いている。輸入合板についても荷動きは低調なままであるが、現地価格の下落は見込めず、先行きは横ばいから強含みの展開が予想される。